

【バレーボール 知的・聴覚】

開催日時 令和7年11月30日（日）午前8時30分から午後4時まで

会 場 バルドラール浦安アリーナ（浦安市総合体育館）

令和7年度千葉県障害者スポーツ大会 バレーボール競技 （知的障害者の部・聴覚障害者の部）競技実施要領

1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則令和7年度版（（公財）日本パラスポーツ協会編）に定める以外は、同年度の（公財）日本バレーボール協会競技規則（国際競技規則）及びこの要領に定めるところによるもののほか、参加団体代表者会議確認事項による。

2 競技方法

（1）チームの構成

① **知的障害者の部** 監督1名・コーチ2名及び選手12名内とする。

② **聴覚障害者の部** 監督1名・コーチ1名・マネージャー（聴覚の場合手話通訳者等）1名及び選手12名内とする。

③ 共通

ア 男女別にチームを構成する。

イ 監督・コーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督・コーチを含めて12名以内とする。

（2）組み合わせ

参加団体代表者会議において抽選により決定する。

（3）試合は、ワンボールシステムで行う。

（4）試合球は、（公財）日本バレーボール協会検定球5号球（人工皮革・カラーボール）

（5）ネットの高さ

（聴覚男子243cm）（聴覚女子224cm）

（知的男子230cm）（知的女子215cm）とする。

（6）競技方法

①全試合トーナメント方式とする。原則として3位決定戦を実施するが、参加チーム数が多い場合は実施しない。また、出場チームが少ない場合はリーグ戦方式で行うことができる。

②3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

ア 1セット25点のラリーポイント制とする。

また、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

イ 第3セットのコート交代は、13点先取した時に行う。

リーグ戦において同率の勝敗で、失ったセット数でも決まらない場合は、チームの総得点と総失点の差で決定する。それでも決まらない場合は、コイントスで決める。

③背番号は、1番から12番までが望ましい。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。なお、チーム名、キャプテンマーク、背番号等のサイズは、規定のものとする。

リベロを採用する場合は、他の競技者と区別できるユニフォームを着用する。

(7) 各チームの監督は、試合毎のプロトコール時にコンポジションシートを副審へ提出する。

また、各セットが始まる前にラインアップシートを副審へ提出する。

3 開会式・表彰式・監督会議

(1) 開会式は、アナウンス等による通告とする。

(2) 表彰は、式典として実施せず、アナウンス等で行う。

(3) 監督会議は、大会当日に大会本部前で行う。開始時間は別途連絡する。

また、監督会議において申し合わせ事項を設けることができる。

4 参加申込

(1) 申込

参加申込書（総括表・参加申込書）

(2) 申込期間 **令和7年9月2日（火）～9月24日（水）（締切日必着）**

(3) 申込方法

申込書は、千葉県障がい者スポーツ協会ホームページからダウンロード、作成し、「メールでのお問い合わせ」フォームから提出する。

※千葉県障がい者スポーツ協会のメールアドレスでは申込書を受け付けないので注意すること。

【申込先】 ホームページ <https://www.cpsa.or.jp/>

競技に必要な書類様式もダウンロードが可能。

（事務局） 〒263-0016 千葉市稲毛区天台6-5-1

一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会

5 参加団体代表者会議

参加団体代表者会議を次の日程で実施するので、参加団体は必ず1名出席すること。

知的障害者の部

(1) 期 日 **令和7年10月 4日（土）午前10:00～**

(2) 会 場 千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター
多目的アリーナ 千葉市稲毛区天台町323

聴覚障害者の部

(1) 期 日 **令和7年11月 1日（土）午後2:00～（予定）**

(2) 会 場 千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター
多目的室 千葉市稲毛区天台6-5-1

6 個人情報の取り扱い

次の（1）から（5）を承諾した上で申し込むこと

(1) 申し込み時に提出された書類（情報）は、プログラム作成（組み合わせ）及び全国大会派遣事業に使用する。

- (2) 大会プログラムに、競技運営上必要な氏名、所属、障害区分等の個人情報を掲載する。
- (3) 大会当日に報道機関が来場し、テレビや新聞等で報道されることがある。
- (4) 主催者において、大会時に撮影した映像等を障がい者スポーツ普及・発展のための広報に使用することがある。
- (5) 主催・後援団体等のホームページ、X（エックス）で公式記録を公表する。

7 参加者の安全対策

社会状況等により安全な大会運営が不可能であると判断した場合、大会を中止する場合がある。

8 競技場内への入場制限

- (1) 競技場内（アリーナ）への入場については、選手、監督、コーチ、マネージャー等、主催者に事前登録を申請し、許可された者以外は入場することができない。
- (2) 応援席（メインアリーナスタンド）以外へのカメラ等撮影機材の持ち込みと撮影は禁止する。

9 救護及び傷害保険加入

- (1) 参加選手の健康・安全管理については、参加者・団体において十分配慮するものとし、会場において主催者は、応急の処置のみを行うものとする。
- (2) 大会運営スタッフ、選手、役員（監督、コーチ等）及び大会参加に必要な引率者について、傷害保険を主催者で加入する。
 - ① 傷害保険の適用は、原則として大会会場内の範囲とする。
 - ② 本人の故意や重大な過失によるもの、また疾病は、傷害保険の対象外となる。

10 その他

- (1) 大会当日の練習は、定められた場所で安全に留意し、大会役員の指示に従って行うこと。
- (2) 練習球は、各チームで用意すること。
- (3) 関東ブロック予選会代表チーム
 - 第25回全国障害者スポーツ大会関東ブロック予選会の出場チームは、以下のとおりとする。
 - ① 知的障害者の部
 - 出場選手を各チームから選抜することとする。選手選考会議で選抜チームの監督を決定し、出場選手は監督を中心に関係者で話し合いの上決定する。
 - ② 聴覚障害者の部
 - 原則として優勝チームが出場することとする。各チームから選抜する場合は優勝チームの監督を中心に関係者で話し合いの上決定する。